2026 年 11 月6日

各　　位

会社名　　東洋合成工業株式会社
代表者名　代表取締役社長　　木村 有仁
（コード番号:4970 東証スタンダード市場）
問合せ先　取締役 経営企画部長　　渡瀬 夏生
（電話番号:03－5822－6170）

通期業績予想の修正、
中間配当の決定（増配）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 11 月6日開催の取締役会において、2026 年8月7日に公表いたしました 2027 年3月期の業績予想を上方修正するとともに、2026 年9月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を直近予想から増額して決定し、期末配当予想についても増額修正することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1．2027 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（2026 年4月1日～2027 年3月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	50,000	5,800	5,500	3,800	478.79
今回修正予想（B）	51,000	6,500	6,200	4,700	592.18
増　減　額（B－A）	1,000	700	700	900	―
増　減　率（　%　）	2.0	12.1	12.7	23.7	―
（ご参考）前期実績	41,956	3,668	3,592	2,692	339.26

業績予想の修正理由

当期は、生成 AI 向けデータセンター投資の拡大を背景に、先端ロジック半導体やメモリを中心とする半導体関連需要が当初の想定を上回って推移しました。これに伴い、これまで進めてきた生産能力の増強により供給を拡大し、感光性材料セグメントでは先端フォトレジスト向け材料、化成品セグメントでは高純度溶剤の販売が増加し、利益面に寄与しました。

今後についても、先端半導体関連需要は引き続き旺盛であり、当社製品の販売も好調に推移するものと見込んでおります。こうした需要動向及び今後の見通しを踏まえ、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益の通期業績予想を前回予想から上方修正いたしました。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想

（1）剰余金の配当（中間配当）

	決定額 （2027 年3月期中間配当）	直近の配当予想 （2026 年5月８日公表）	前期実績 （2026 年3月期中間配当）
基準日	2026 年9月 30 日	同左	2025 年9月 30 日
1株当たり配当金	30 円 00 銭	25 円 00 銭	20 円 00 銭
配当金総額	238 百万円	―	158 百万円
効力発生日	2026 年 12 月４日	―	2025 年 12 月５日
配当原資	利益剰余金	―	利益剰余金

（2）期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期　末	年　間
	円　銭	円　銭	円　銭
（前回予想）2027 年3月期	25.00	25.00	50.00
今回修正予想	―	30.00	60.00
当期実績	30.00	―	―
（前期実績）2026 年3月期	20.00	20.00	40.00

（3）剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識しております。剰余金の配当は、安定配当の維持を基本に安定的な経営基盤の確保とのバランスに配慮しながら、会社の業績、配当性向、内部留保等を総合的に勘案し決定することを基本方針としております。

上記の方針、第2四半期累計期間の業績、及び上記業績予想の上方修正を踏まえ、中間配当につきましては直近予想から1株当たり5円増配の 30 円とさせていただきます。なお、期末配当予想につきましても、直近予想から5円増配の 30 円とし、年間配当金は 60 円となる見込みです。

以　上